

助け合いの心を大切に 協同組合が支援活動

◆ 愛媛県森林組合連合会 仮設住宅用杭丸太を被災地へ送る

愛媛県森林組合連合会をはじめとする県内林業関係組織は愛媛県森林局と連携して、仮設住宅用杭丸太や木炭などを東日本大震災で甚大な被害を受けた東北地方に送りました。

この取り組みは、被災した東北地方各県から政府・林野庁に対して要望のあった物資について、県内林業関係組織が支援を行ったものです。県森林組合連合会では、2011年6月末までに、仮設住宅用杭丸太14,800本と木炭用コンロ100基を被災地に向けて送りました。



被災地に向けて詰め込み作業を行いました



多くの愛媛県産木材が被災地の暮らしを支えます

◆ 愛媛県漁業協同組合連合会 地震被害支援金約5500万円募金

全国漁業協同組合連合会（JF全漁連）は、JFグループ東北地方太平洋沖地震漁業・漁村災害復興対策本部を設置して、被災した漁村地域の早期操業再開と復興に向けた支援活動を展開しています。愛媛県漁業協同組合連合会では、県内各漁業協同組合と連携して募金活動に取り組み、55,034,128円(2012年1月13日現在)を同対策本部に送金しました。

また、愛媛県青年漁業者連絡協議会が加入する全国漁青連は通常総会で、1人あたりの年会費を200円加算して、その加算分を被災地の支援対策に役立てることを決議しました。被害の大きかった岩手県、宮城県、福島県の青年部員には全国漁青連より中綿入りのジャンパーを約1,400着贈るなど、組織が一体となって支援活動に取り組んでいます。



募金活動に取り組むJF全漁連役員
(写真提供：JF全漁連)



「絆」JF漁青連とプリントされたジャンパー
(写真提供：全国漁青連)

協同組合がよりよい社会を築きます

